

県民の森 冬芽の観察コース

—花だより 12・1月合併号—



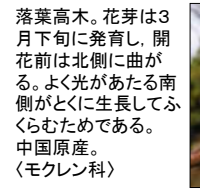
幹のようす



花芽

アメリカヤマボウシ (ハナミズキ)

落葉高木または小高木。冬芽は葉芽(ようが)と花芽(はが)がある。花芽はネギ坊主そっくりで、葉芽は細長く、先がとがる。長方形の深い割れ目が入り、ごつごつした肌の樹皮が特徴。庭木、街路樹、公園樹として人気が高い。(ミズキ科)



花芽

葉芽

ハクモクレン

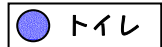


オニグルミ

落葉高木。葉痕(ようこん)がまるで羊の蹄のよう。冬芽は裸芽(らが)で褐色の短毛が密生する。5~6月、葉の展開とともに開花するが花はあまり目立たない。(クミドリ科)



葉痕



トイレ

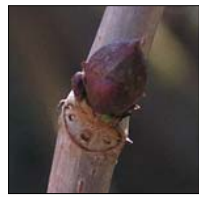
モデルコース：歩いて約90分

落葉低木~小高木。冬芽は混芽(こんが)と葉芽(ようが)がある。春に、混芽から葉と花序が同時にのびだす姿は印象的。黄白色ときに淡紫色を帯びた小さな花を多数つける。(スイカズラ科)



葉芽

混芽



ニワトコ

落葉小高木。葉痕(ようこん)がまるで馬の蹄のよう。冬芽は裸芽(らが)で、紫褐色をしており、軟毛がある。夏に芳香のある白い花を多数つける。(クマツヅラ科)



葉痕

クサギ

ニワトコ

桜山

第二広場

森の加チャセター

トチノキ

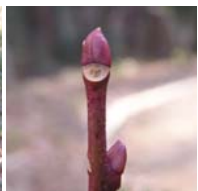
植物園

駐車場

ネジキ



幹のようす



落葉低木~小高木。枝や冬芽が美しいので花材に使われる。若い枝は黄緑色または赤褐色。生長すると、幹がねじれるのが特徴。5~7月に白い花をつける。(ツツジ科)



ムラサキシキブ

落葉低木。冬芽は裸芽(らが)で、灰褐色の星状毛におおわれた幼葉が向きあっている。冬芽の対生する姿はおもしろい。夏に淡紅紫色の花をつける(クマツヅラ科)

ホオノキ

マツ見本林



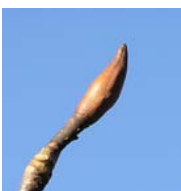
ユリノキ

落葉高木。アヒルのくちばしのような冬芽。まるい葉痕(ようこん)とも形がおもしろい。5~6月、チューリップのような形の花をつける。別名：チューリップツリー。北アメリカ原産。(モクレン科)

交歓広場

第一広場

ホオノキ



落葉高木。大きくのっぺりとした冬芽。キャップ状の芽鱗(がりん)に包まれる。葉は、岐阜県高山の名物として有名な朴葉味噌(ほおぼみそ)に使われる。(モクレン科)



葉芽

落葉高木。冬芽は大きく、樹脂でべとべとしている。葉痕(ようこん)も大きい。春に、先端の芽から葉と花序が同時にのびだす姿は印象的。(トチノキ科)

0 100m